

No.71

領域：	グローバル、パブリック		
テーマ：	グローバル・イシューについて学ぶ		
担当者名：	真崎克彦		
開講時期：	後期 金曜 4・5・6 限	募集定員：	25名
内容：	近年、経済グローバル化の恩恵が世界各地に広まる一方、人間の生命や生活に対する脅威も高まってきた。格差拡大、環境破壊、テロや紛争、経済危機といったグローバル・イシューの生起である。こうした中、人びとの生存や暮らしが脅かされることのない状態にしていくには、今日の地球社会をどう立て直せば良いのだろうか。本授業では、グローバル・イシューを引き起こす根本的問題を見すえながら、この問いを探究していく。		
到達目標：	<p>(1) 市民として生きていく上での指針、「社会はこうあってほしい」、「そのためにこうした仕事や活動に取り組みたい」といった将来への抱負を育んでもらいたい。</p> <p>(2) 「①読む」、「②考える」、「③話す」、「④聴く」、「⑤書く」の内、特に「①読む」と「⑤書く」に力を入れつつ、大学生として自主的に学ぶ能力を高めてもらう。</p>		
講義方法：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回、事前に指定された教科書を読み、その内容を A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 ・ 授業中は積極的に質疑応答や討論に参加する。 ・ フィードバックペーパーを毎回提出する。 		
準備学習：	毎回、事前に指定された教科書を読み、その内容を A4 用紙 1 枚にまとめる。また、グループ発表に際しては、パワーポイント資料を用意してくる。		
成績評価：	レポート (30%)、グループ発表 (20%)、最終レポート (20%)、平常点 (30%)		
欠席基準：	3分の1以上を欠席した場合、単位を修得できない (= 「欠席」 評価)。また出席しても、自動的に単位が修得できるわけではない。		
講義構成：	<p>《第1～2回目》 講義を通して、グローバル・イシューについての理解を深める。</p> <p>《第3～15回目》 教科書を読み進めながら、それらの内容からどのような時代背景や社会構造が浮き彫りになるのかを話し合う。グループ発表を取り入れる。</p>		
履修条件：	<p>上記の「講義方法」を守れる人。また、2冊の教科書を全て生協で購入する必要がある。</p> <p>① 奥田孝晴他『私たちの国際学の「学び」』新評論</p> <p>② ヴォルフガング・ザックス他『フェアな「未来へ」』新評論 (以上、予定)</p>		
推奨科目：	---		
選考方法：	---		
備考：	大学教員になる前は国際協力の仕事をしており、現在も大学勤務の傍ら、国際機関・政府組織・NGO のアドバイザーとして支援現場に関わるようにしています。受講者の皆さんが国際協力の現場の様子にもふれることのできるような授業に努めます。		
説明会：	---		